【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年11月13日
【会社名】	株式会社ガーラ
【英訳名】	GALA INCORPORATED
【代表者の役職氏名】	代表取締役グループＣＥＯ　　キム　ヒョンス
【本店の所在の場所】	東京都千代田区丸の内一丁目９番２号
【電話番号】	03（6822）6669（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役ＣＦＯ　　小笠原　一郎
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内一丁目９番２号
【電話番号】	03（6822）6669（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役ＣＦＯ　　小笠原　一郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

1【提出理由】

当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の５第４項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

2026年11月13日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

2026年12月期第３四半期の連結決算において、以下のとおり、営業外費用（為替差損）及び法人税等調整額（費用）を計上いたしました。

① 営業外費用（為替差損）の計上

2026年12月期第２四半期連結累計期間において為替差益57,122千円を計上しておりましたが（2026年８月14日公表）、その後の為替相場の変動（主にウォン高の進行に伴い、当社韓国支店のウォン建債務の円換算額が増加したこと及び韓国子会社の海外売上に係る外貨建債権等のウォン換算額が減少したこと）により、当第３四半期連結会計期間（2026年７月１日～2026年９月30日）において為替差損133,306千円が発生したため、当第３四半期連結累計期間において為替差損76,183千円を営業外費用に計上いたしました。

② 法人税等調整額（費用）の計上

当第３四半期連結会計期間（2026年７月１日～2026年９月30日）において、税効果会計の適用に伴い、課税所得の発生による繰越欠損金の使用に伴う繰延税金資産の取崩し等により、法人税等調整額24,665千円（費用）を計上いたしました。この結果、当第３四半期連結累計期間の法人税等調整額は104,658千円（費用）となります（第２四半期連結累計期間における計上額79,993千円（2026年８月14日公表）を含みます）。

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、2026年12月期第３四半期連結会計期間（2026年７月１日～2026年９月30日）の連結決算において、下記のとおり為替差損及び法人税等調整額を計上いたしました。

〈連結〉

為替差損	（営業外費用）	133,306千円
法人税等調整額（費用）	（法人税等）	24,665千円

（注） 当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）の計上額は、為替差損76,183千円、法人税等調整額（費用）104,658千円であります。

以上